

かかりつけ医と病院を結ぶ

# 東北中央病院 病診連携室だより



平成18年12月 No.19

ホ - ムペ - ジ <http://www.tohoku-ctr-hsp.com/>

理念 「心温かい 信頼の医療」 病院長 田中靖久

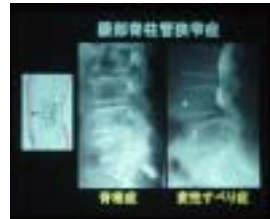
## 《開放型病床懇話会主催 第2回登録医勉強会》



12月6日(水) 当院の講堂に於いて、開放型病床懇話会主催の「登録医勉強会」を開催しました。ふだん大変お世話になっている開放型病床ならびに病診連携の登録医の先生方、当院の医師、看護部職員が参加されました。

演題 『増加する腰部脊柱管狭窄症  
- 健脚を守るために -』

演者： 病院長 田中靖久



腰部脊柱管狭窄症とは、「腰部の脊柱管が狭くなり、この管の中に入っている馬尾・神経根が圧迫されて特徴的な症状が生じる」ことを言います。下肢のしびれや痛みを感じても、ただの坐骨神経痛と思い込んでしまう方がいますが、実際は腰部脊柱管狭窄症の症状であることが少なくありません。重症になると手術を要します。



現代は高齢化が進み、70歳代の手術例が最も多いようです。病院長が経験した症例を通じて、本疾患について詳しく学びました。

参加された開業医の先生方にとりまして、この勉強会が日常の診療に少しでもお役に立てれば幸いです。毎週月(午前・午後)と木曜日(午前)に、『**脊椎外来**』



として田中が外来診療を行っていますので、お気軽にご紹介して頂ければ有難く存じます。第3回目は、来年3月頃に開催の予定です。日程が決まり次第ご案内を発送しますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



〒990-8510 山形市和合町3丁目2番5号

公立学校共済組合 東北中央病院 病診連携室

電話(フリ-ダイヤル): 0120-703-995

FAX(フリ-ダイヤル): 0120-168-990